

令和7年度

## 第24回宮崎ひむか旗高等学校男子柔道競技大会実施要項

## 第20回宮崎ひむか杯高等学校女子柔道競技大会実施要項

(宮崎ひむか高等学校柔道交流練成会)

1. 趣 旨：全国から高等学校男女柔道部が集い、4日間の競技大会及び錬成会を実施することで、競技力向上を図り、かつ生徒間が交流する機会を設け、次世代を担う高校生の健全育成を目指すことを目的とする。また、全国高等学校柔道選手権大会団体試合に準じた大会を行い、チーム及び選手が自らの課題を見出し、解決のための糸口を探り、高校生柔道の発展と更なる飛躍のための礎となる機会となることも大会の目的とする。
2. 主 催：宮崎県柔道連盟
3. 主 管：宮崎県柔道連盟高校部会 ・ 宮崎県高等学校体育連盟柔道競技専門部
4. 期 日

25日(木)		26日(金)		27日(土)		28日(日)	
10:00	大会準備 (県内高校)	7:45	武道館開館	8:00	武道館開館	8:00	武道館開館
13:00 16:30	錬成開始 各校申合せ 女子計量	8:30	監督会議 2F 会議室	8:40	監督打合せ 男女とも主道場	8:40	監督打合せ 男女とも主道場
※25日 13:00～16:30 受付・女子計量。 26日 8:00～8:30でも 受付・女子計量は可。 上記以外は、連絡して ください。		9:15	開会式 主道場				
		9:40	試合開始	9:00	錬成会開始	9:00	錬成会開始式
		16:30	表彰式 閉会式	16:30	錬成会終了	12:00 13:00	錬成会終了 撤収完了

5. 会 場：宮崎県総合運動公園内 ひなた武道館（宮崎県武道館）
6. 大会における参加資格・チーム編成・参加制限について
- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校又は中等教育学校後期課程に在籍する生徒であること。
- (2) 本年度全日本柔道連盟に登録完了した者。
- (3) 男子チーム登録者数は8名以内（監督1名、選手7名以内）とする。
- (4) 女子チーム登録者数は7名以内（監督1名、選手6名以内）とし、出場選手は全国高校選手権大会と同様に先鋒52kg以下・次鋒63kg以下・大将無差別の3名対戦とする。ただし、補欠は3名登録できる（補欠の階級指定は無し）。
- (5) 男子部門・女子部門ともに、上限2チームまでとする。
- (6) 部員数が満たない場合は、合同チームも認める。ただし、合同チームを組まない場合は、男女とも後詰めとする。

7. 錬成会における参加資格・チーム編成・参加制限について

- (1) 男子は1部門(都道府県大会ベスト4～8以上)・2部門を設置する。ただし、どの部門で錬成会に参加するか、は各学校の指導者が判断し申し込むこと。チーム数の制限なし。
- (2) 女子は部門設定しないが、参加チーム数によっては設置することもあり得る。チーム数の制限なし。

8. 引率・監督について

- (1) 引率者・監督・指導者等は、選手の全ての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率者・監督・指導者等は、所属校長の認める者とする。

9. 大会における試合規定及び試合方法

- (1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定および全国高体連申し合わせ事項による。
- (2) 試合時間は3分とする。
- (3) 男子団体試合は5名の点取り対戦とし、全国高等学校柔道選手権大会と同様に試合毎のオーダー変更を認める。
- (4) 女子団体試合は試合毎のオーダー変更は不可とし、1度退いた選手は再出場できない。計量を実施するが、+2kgまでは計量合格とする。計量日時は、12/25(木)午後16:30までを原則とするが、来県の都合による場合は12/26(金)8:00～8:30でも可とする。場所は、女子控え場所でもある副道場で実施する。
- (5) 優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上とする。スコアが同等の場合は「指導差2」以上を僅差勝ちとする。「勝ち」の重みは、一本=合わせ技=反則勝ち>技有>有効>僅差(指導差2)とする。
- (6) 予選リーグ方式やトーナメント方式は、参加チーム数によって判断する。
  - ① リーグ戦の順位決定および勝敗は次による。
    - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
    - (イ) (ア)で同等の場合は、9-(5)を基準に勝ち数の多いチームを上位または勝ちとする。さらに勝率が同等のチームがでた場合は、9-(5)を基準に負け数の少ないチームを上位または勝ちとする。なお、すべてにおいて同等の場合は、代表戦を行う。
  - ② トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
    - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
    - (イ) (ア)で同等の場合は、9-(5)を基準に勝ち数の多いチームを勝ちとする。なお、同等の場合は代表戦を行う。
- (7) 男子団体の代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して代表戦を行う。代表戦の競技方法は本戦～GSを行う。GSは「有効」以上、または「指導」に差が出た時点で勝敗を決する。
- (8) 女子団体の代表戦は、「引き分け」の中から抽選し、GSから試合を実施する。GSは「有効」以上、または「指導」に差が出た時点で勝敗を決する。両チーム2名しかいない場合は、全ての対戦から抽選しGSを行う。
- (9) 試合に使用するチーム名札・選手名札については監督会議で配布する。男子団体は、試合直前に監督が名札を上から先鋒～大将の順番で重ねて5枚を試合会場補助員に提出。対戦校のオーダーが揃った後に掲示する。女子団体については、試合直前に監督が直接掲示する。

## 10. 錬成会における試合規定及び試合方法

- (1) 男子錬成会は、チーム対戦を25分間で行う。場所は主道場とする。試合時間や人数は、チーム同士で申し合わせる。
- (2) 女子錬成会は、チーム対戦を20分間で行う。場所は柔道場とする。試合時間や人数は、チーム同士で申し合わせる。
- (3) 勝ちの判定基準は、大会に準ずる。
- (4) 大会および錬成会の組合せ準備は、実行委員会が12月6日(土)に行う。

## 11. 表彰

- (1) 男子の部優勝チームに賞状・ひむか旗(持ち回り)・盾を授与する。
- (2) 女子の部優勝チームに賞状・ひむか杯(持ち回り)・盾を授与する。
- (3) 第2位、第3位(2チーム)に賞状・盾を、ベスト8(4チーム)に賞状を授与する。  
※優勝旗・優勝杯は持ち回りです。前回大会優勝校は返還がありますので、御持参ください。

## 12. 参加費 (保険料含む)

**選手1人2,000円** ※参加費等の支払いについては、受付時にお願いします。

(大会のみでも錬成会のみでも保険料含むため同額です。監督・マネージャーは含まない。)

大会・錬成会に参加するすべての選手に適用(マネージャーや選手以外の部員については、各学校で判断してください)しますので、申込Excelファイルに必要事項を入力してください。選手は主催者側の保険が適用されますが、万一の事故の発生に備え、各学校で監督・指導者・引率者・マネージャーも傷害保険に必ず加入しておいてください。

## 13. 参加申込みについて

- (1) 宮崎県柔道連盟ホームページ【<http://miyazaki-judo.info/>】より大会要項(PDFファイル)・参加申込書(Excelファイル)をダウンロードしてください。
- (2) 所定の参加申込を作成し、原本は郵送、またはPDFファイルにしてExcelファイルと一緒にメール送信してください。原本には、必ず所属校長の公印を押してください。

## 14. 保険・宿泊・弁当申込について

- (1) 配宿を希望する場合は、申込Excelファイルより必要事項を記入の上、申し込むこと。宿泊ホテルおよび部屋数に限りがありますので、先着順とします。
- (2) 1泊2食付または1泊朝食を原則とします。
- (3) 保険に関しては、一人一人の個人の住所が必要です。学校の住所などで一括した申請は、保険登録ができません。寮生・下宿生は、その住所となります。
- (4) ホテルの指定は、先着順となります。市内・青島の指定も先着順です。了承ください。詳細は、旅行者・宮崎ツアーサービスへお問い合わせください。(Tel: 0985-33-9550)
- (5) 弁当料金は、**¥650円(税込)**とする。お茶はありません。
- (6) 宿泊および弁当の料金は、受付時に旅行会社(宮崎ツアーサービス)へ支払いをお願いします。

※詳しくは、別資料の宿泊案内(PDFファイル)を確認してください。

## 15. 申込み先及び問合せ先

〒883-0052 宮崎県日向市鶴町3-1-43 宮崎県立富島高校内

宮崎県柔道連盟高校部会 山元 健嗣 宛

Tel : 0982-52-2158 Fax : 0982-54-9510 携帯Tel : 090-2505-5811

Mail : k.yamagen.19771110@gmail.com または yamamoto-kenji@miyazaki-c.ed.jp

※申込メ切：令和7年11月28日（金）

## 16. 参加条件・連絡事項

- (1) 期間中の負傷については、整形外科医・看護師が一時的な応急処置は施すが、それ以上の処置については、加入保険料の範囲内で対処する。なお、選手は健康保険証を持参すること。（参加する各校で、保険に加入することが望ましい）
- (2) 指導者・引率者は、**救急搬送以外の急な傷病発生時は医療機関で受診させること**。また、現地到着後の体調不良・発熱により参加不可能な場合は、医療機関を受診し、即帰らせるなどの対応をとることとする（**単身で宿舎療養させることを禁止する**）。
- (3) **参加チームより、審判員1名を必ず選出すること（男女参加チームは、各1名ずつ審判員を選出）**。自チームの1試合前の審判業務を参加チームの審判員が行うこととする。審判は2審制とし、**タブレット映像を活用する予定**。参加選手も、**補助員業務を手伝うこととする**。大会運営にご理解ご協力をお願いします。審判服（冬用）をご準備ください。
- (4) チーム帯同審判員は、監督以外の審判員でもよい。ただし、**Cライセンス以上を有している者が審判を行うこととする**。事故・怪我・選手の安全管理上、**遵守してください**。
- (5) 期間中は感染症対策をしっかり行う。下記の内容は、各学校で実施・準備すること。
  - ①各学校で健康観察を必ず行うこと。
  - ②応急手当て用の氷は、各校で準備すること。
  - ③各種感染症対策の為、マスク等を各学校で準備すること。
  - ④アルコール消毒液を準備すること。
  - ⑤体温計などは、各学校で準備すること。
- (6) 量の消毒は状況に応じて行うこととする。
- (7) 大会に際して提供される個人情報<sup>※</sup>は運営に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。